

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年12月25日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104365
法人名	有限会社ベストケアライフ
事業所名	グループホームかわかみ
所在地	鹿児島市川上町1854番地1 (電話) 099-243-7735
自己評価作成日	平成22年11月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaken-shakyo.jp/kohyo">http://kaken-shakyo.jp/kohyo</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成22年12月9日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

- ・静かで明るく開放的という恵まれた環境の中で、入居者の皆様の可能な限りの自立と望む生活が送れるような支援に取り組んでいます。
- ・毎日のレクリエーションのほか、ドライブなどの外出行事や家族参加型の食事会などにも力を入れ、入居者の皆様が明るく楽しく安心して暮らせるよう、入居者中心のケアに取り組んでいます。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点 (評価機関記入)】

鹿児島市郊外で近くには福祉関係の施設や保育園があり、高齢者も生活しやすい環境である。

建物の中は廊下が広く取られゆったりとした明るい室内で、ソファがあちこちに置かれて思い思いに過ごせるスペースとなっている。

リビングから広い中庭にスロープを伝って出られ、散歩が楽しめる。

職員は理念の「みんなでたすけあい安心のある暮らし」とモットーの4項目を実践するケアを心がけていることが、利用者のゆったりと安心した表情から感じられる。

協力医が週2~3回も訪ねており、気軽に健康状態を相談できることも「安心のある暮らし」につながっている。

運営推進会議や監査・外部評価等の助言を活かし、改善に向けた取り組みがなされている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	・目につく所に理念を掲げ、毎日確認することで意識を持って毎日の介護に取り組んでいる	理念をケアに具体的に活かすためのモットーを、職員全体で話し合い、毎日の実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・町内会へ加入し、地域の集まりや行事等へも参加するなど交流を図っている	町内会の一員として地域行事や町内の防災訓練等に参加している。また、近くの保育園児やボランティアや中高生の実習などを受け入れ、地域住民も訪れるなどの交流がある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	・地域の行事に参加することにより、ホームに対する理解を深めてもらえるよう努力している。様々な場において、ホームを活用してもらうための働きかけも行っている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・地域や家族の方々に委員となってもらいホームの取り組み等様々なことを報告するとともに、多くの事柄について幅広い意見をもらい参考にしている	委員の町内会長や民生委員から防災についてのアドバイスを受けたり、家族の委員から重度化・終末期の方針について意見をもらっており、推進会議が運営に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>・市の介護相談員の受け入れを行い、また市の担当部署や地域包括支援センターなどとも連絡を取り合い、連携を図っている</p>	<p>ホーム長がよく市の担当者と連絡を取り合っている。また、市の介護相談員を受け入れ、支援の在り方について連携をとっている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>・身体拘束についての勉強会を行い、日中の玄関・出入口に施錠しないことはもちろん、身体拘束をしないことを前提にケアを行っている</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設置しており、職員会議等で話し合いや勉強会をしている。職員全体で、日中の玄関等の施錠や身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>・身体的な虐待に限らず、言葉による暴力がないかなども注意し、勉強会などにおいても虐待について学ぶ場を作っている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>・なかなか学ぶ機会が少ないが、研修会などへも出来るだけ参加するようにして理解する努力を行い、今後必要な時に活用できるようにしていきたい</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>・契約書等には必ず目を通してもらったうえで、利用者や家族が何を知りたいのかを確認し、説明を行っている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・運営推進会議のほか、普段の会話の中で何げなく出てきた意見を拾ったり、申し出のあったことに対して内容を検討している</p>	<p>運営推進会議のほか、普段から利用者はよく職員に要望を伝えている。また、通常の会話の中から要望を汲み取るようにしている。要望はユニット会議で話し合い、運営に活かしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>・職員会議やユニット会議、また個別に出てきた意見をまとめて、あげるようにしている</p>	<p>ユニット毎に主任を置き、ユニット会議や職員会議で意見を聞いている。会議でも、支援の仕方や方向性について意見を聴いており、個別面談も実施している。意見は反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・それぞれの職員の勤務に対する希望などに応じた勤務形態の作成や、資格取得に対する支援も行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・ホーム内で全体および個別の研修会を定期的に行っているほか、ホーム外の研修についても、その内容や希望に応じて参加できるようにしている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・他のグループホームでの研修や勉強会に参加し、情報収集やケアへの参考に使っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>・出来るだけ早いうちに本人と面談し、じっくりと話をすることにより本人にとって安心できるようにしている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>・ただ必要なことを聞くだけでなく、家族が話したいことをまず聞くことによって、信頼できる関係が作れるように努めている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・相談を受けた内容をよく検討し、体験や入居などの支援のほかにも、必要であれば他のサービスをすすめたりもしている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>・本人が出来ること出来ないことを見極め、出来ないことについては支援をしながら、出来ることややりたいことについては本人が出来るように活動の場を作っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・本人の毎日の状態を面会時やホーム便りなどにて報告し、また家族の思いなども聞いて協力している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・手紙や電話での交流を支援するほか、面会等も自由に出来るようにしている	入所前の隣人や友人が訪ねて来たり、電話や手紙での交流を支援している。関係維持の支援体制ができている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・お茶や食事を一緒にとることにより、利用者同士の間に入り、お互いに穏やかに過ごせるように気を配ると同時に、居室にて過ごす方に対しても、こまめに声をかけるようにしている		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・契約が終了していても、いつでも訪ねてくれるような雰囲気を作り、必要であれば相談にものれるようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・本人の話をよく聞き、また毎日の会話の中で、本人の様子を見ながら思いを確認できるように努めている	意思表示のできない利用者に対しても、声かけの工夫や様子の観察、家族への確認などで本人の思いを把握するように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・本人や家族と繰り返し話をすることで、少しずつ今までの情報を集められるよう努力している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・それぞれの記録や申し送り、また本人の表情や会話の中から、本人の状態などを知らることが出来るように努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・職員会議やユニット会議などにおいて意見交換し、皆で検討し介護計画の作成に取り組んでいる	ユニットの担当職員が、職員の意見をもとに計画を作成している。6ヶ月時や状況の変化があった場合は、随時、見直しを行い介護計画を立てている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・それぞれの個別記録を作成して日勤帯夜勤帯ともに記入し、情報の共有が出来るようにしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・本人の要望をよく聞き、病院受診や買い物等の外出支援など、状況に応じて行っている		
29		○地域資源との協働 地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・地域の方々に運営推進会議への協力をしていただいたり、ボランティアを受け入れたりしている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・ホームの協力医だけでなく、本人や家族の希望するかかりつけ医にスムーズに受診できるようにしている。また状況に応じてその他の医療機関への受診についても支援している	入居前の本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。専門医等については、家族の同行受診をお願いしているが、通院支援もしている。ホームの協力医療機関もあり、安心して適切な医療が受けられている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・利用者の普段の体調やその変化などについて相談してアドバイスをもらい、体調の管理に努めている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>・病院、家族などと連絡を取り合いながら、本人の状態に応じて一番良い方法をとれるように連携をとっている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・ホームでどこまで支援できるかの方針に基づき、相談時の説明やその後も必要な時に話し合い等を行っている</p>	<p>重度化と終末期について、ホームでできることの方針を決め、家族と職員に伝えている。これをもとに状況に応じて協議している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・医療講習会や勉強会などにて学ぶ機会や訓練を行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・年2回定期的に避難訓練を行うとともに、非常用の備蓄や地域への協力依頼を行っている</p>	<p>年2回、消防署の指導のもとに避難・消火訓練をしている。地域住民に防災の協力を呼びかけている。災害時の備蓄もしている。夜間想定・地震想定訓練は今後の課題となっている。</p>	<p>夜間想定・地震想定等についても取り組みが待たれる。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・一人ひとりに自尊心を大切に、本人のプライドや気持ちを傷つけないような言葉かけや対応を心掛けている	利用者の尊厳や気持ちを、傷つけない言葉かけをすることを努力している。管理者が、プライバシーを損ねないさりげない支援をするように、日頃から指導している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・自分から希望を訴えられる方についてはまず聞くようにし、うまく表現できない方についても、一緒に考えてアドバイスしながら押しつけずに自己決定出来るようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・一人ひとりの好みに合わせ、レクリエーションなども無理強いないで自分のやりたいことが出来るように支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	・定期的に散髪や美顔マッサージを行うほか、希望により散髪に出かけている。毎日着る洋服についても、声かけしながら決めてもらっている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・配膳下膳をお願いしたり、下ごしらえや片付けなど出来ることを一緒に行い、食事も同じテーブルで会話を楽しみながら食べている	下ごしらえや調理準備など、できる事を一緒に行ったり、食べられないものには代替品を用意するなど、食事を皆が楽しめるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・バランスのよいメニュー作りを心掛け、本人の食欲や好みに応じて量や内容を検討し、水分補給も声掛けしている。一日の食事量、水分量も記録してチェックしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・自分で出来る方については声掛けしてケアを促し、介助の必要な方には本人が出来ない部分への支援を行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	・排泄簿を活用しながらそれぞれのパターンに応じて声掛け誘導を行ったり、パットの使い方の指導を行っている	一人ひとりの排泄パターンに合わせた支援を行っている。排泄が自立していない利用者には排泄簿を作成し、素振り等で排泄のタイミングを把握できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・水分補給や野菜の摂取をはじめ、軽い運動などを行ってスムーズに排泄できるように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	・入浴日は決まっているが不公平にならないよう順番を変えてゆっくりと入浴できるように必要な介助等を行っている。夏場は希望に応じてシャワー浴もできるようになっている	毎日、昼から入浴を楽しめる体制にある。日ごとに順番を変えたり、入浴をいやがる利用者には、人や時間を変えたり、声かけなどの工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・日中も本人の生活リズムや体力等に合わせて、休憩や昼寝の時間がとれるようにしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・一人ひとりが服用している薬の一覧があり、自由に確認できるようになっている。また誤薬や飲み忘れのないように、お互いに再三の確認を行っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・ホームでの手伝いを自分の仕事のようにしていたり、テレビや新聞、作品づくりなど自分の好きなことをしたりされている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	・希望に応じて買い物や食事などの外出を行っており、それ以外にもホームで季節に合わせたドライブなどを計画して、外出できるよう支援している	最近は、歩けなくなった利用者が増えたため、散歩は車いすで中庭に出たり、個人の希望で外食等に出かけている。また、事業所の行事として、ドライブを兼ねた外食を実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・お金を所持している利用者も数名おり、本人の希望により買い物に行ったり頼んだりして自由に使っている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>・電話の取り次ぎを行うほか、自由に電話をかけたり手紙のやり取りもされている</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・季節の花や飾り物を置き、毎日の掃除で明るく清潔であるように努めている</p>	<p>共用空間は、明るく清潔感がある。季節感のある飾りや懐かしい写真などが飾られている。中央の仕切りをはずすと、大きな空間が出現してイベントに利用できるなど、居心地よく楽しく過ごせる工夫がある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>・食堂や廊下にソファが置いてあり、独りでも他の利用者と一緒に過ごすことができるようになってきている。またマッサージ機も置いてあり、使用しながら自由に過ごすこともできる</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・本人の使いなれた机や椅子などを持ち込み、使いやすいように配置して安心して過ごせるようにしている</p>	<p>相撲好きの利用者の居室には、番付表や相撲に関するいろいろな物が持ち込まれるなど、全体的にそれぞれの個性ある居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・建物内はバリアフリー、庭へはスロープになっており、安全に生活できるようになっている。またトイレの手すりなども付けて、それぞれが自立できるように工夫がなされている</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない